

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年1月9日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 8 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	主発電機水素ガス冷却装置用水素ガスポンベの切替(海側 山側ラック)時、海側出口弁が空回りし、閉まらないことが認められたため、当該出口弁を交換。	D	
2	1号機	燃料プール冷却材浄化系ろ過脱塩器逆洗水圧力調節弁において、グランド部よりにじみによる水の漏えい(堰内に約20cc、放射能なし)が認められたことから、当該水を拭き取り除去及び受け容器設置、当該弁を点検。	D	
3	2号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)電解鉄イオン供給配管ドレン弁にシートリーク(指1本程度)が認められたため、当該ドレン弁を点検。	D	
4	2号機	高圧復水ポンプ(A)用油タンクにおいて、油量が少ないことが認められたため、油を補給、対応検討。	C	
5	2号機	プラント起動操作中において、気体廃棄物処理系排ガス除湿冷却器出口水素濃度高の警報が発生し、調査したところ、同冷却器用冷凍機が停止していることが認められたため、起動操作を中断、調査及び対応検討。	B	・H21年1月20日再審議にてグレード変更「C」→「B」
6	4号機	制御棒挿入・引抜き(ノッチ)・カップリング試験(その2)において、制御棒(座標46-31:中間位置)を1ノッチ挿入後1ノッチ引抜くところ、誤って、挿入せずに1ノッチ引抜きを実施したため、当該制御棒を所定位置に挿入し、カップリング試験を実施、対応検討。	B	
7	4号機	残留熱除去機器冷却系海水ポンプ(D)運転時、ポンプ潤滑水電磁弁の動作不良(動きが遅い)が認められたため、当該電磁弁を点検。(運転上問題なし)	D	
8	その他	一次水処理設備シャワー用水タンク液位スイッチにおいて、動作不良(水位高警報及び入口弁閉動作しない)が認められたため、当該液位スイッチを点検。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
: プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
 - A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
: 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
 - B : 国の検査等で指摘を受けた事象
: 運転監視の強化が必要な事象
 - C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
 - D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ
電話 0240-25-1353